

第12 農業農村整備

1 基本方針

農業農村整備事業は、「第4期長野県食と農業農村振興計画」（計画期間 2023～2027 年度）の具体的な実行計画である「長野県農業農村整備計画（第9次長野県土地改良長期計画）」に基づき、「信州の水・土・里が織りなす 未来につづく農業・農村」を基本目標とし、「次代を担う産地を支える基盤整備の推進」、「安全安心で持続可能な農村の基盤づくり」、「農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり」を3本の柱として、計画的に事業を実施することとしている。

信州の水・土・里が織りなす
未来につづく農業・農村

1 次代を担う産地を支える基盤整備の推進

- (1) スマート農業技術の導入や担い手への農地集積・集約化を可能にする、生産効率の高い農地の整備
 - スマート農業技術の導入や担い手への農地集積・集約化のための整備
 - 用排水路のパイプ化やICTの活用による水管理の省力化
- (2) 産地が目指す高収益作物の栽培を可能にする、収益性の高い農地の整備
 - 果樹や野菜等の導入と安定生産に適した農地や畑地かんがい施設等の整備
 - 水田の高度利用を可能とする農地の整備や水田の畑地化
- (3) 用水を安定供給するための農業水利施設の適切な更新
 - 定期的な土地改良施設の点検と長寿命化計画の策定・更新支援
 - 長寿命化計画に基づく更新整備と重要構造物の耐震化・長寿命化
 - 受益地の状況の変化に応じた適切な規模での施設更新

2 安全安心で持続可能な農村の基盤づくり

- (1) 災害から暮らしを守る農村の強靱化
 - 防災重点農業用ため池の地震・豪雨対策
 - 湛水被害を防止する排水機場の更新整備
 - 流域治水におけるため池や水田を活用した雨水貯留の取組
 - 地すべり防止施設の更新と長寿命化の推進
- (2) 住みやすい農村を支える農村基盤整備
 - 農業水利施設に係る水門の自動化・遠隔化の推進
 - 農業水利施設を活用した小水力発電による維持管理コストの低減
 - 土地改良区等施設管理者への支援の強化
 - 中山間地域における定住条件の確保

3 農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり

- 多様な主体の参画による地域づくりの支援
- 疏水・ため池・棚田などの農業資産の魅力発信や地域学習への支援

2 農業農村整備の概況

管内の東部は、全国有数の果樹産地が形成されており、西部は、自然的条件が不利な中山間地域で、地すべり防止区域も多い。農地の整備率は、県全体を下回っており、収益性を高めるための区画整理や畑地かんがい施設の整備が求められている。

また、昭和40年代から50年代に建設された農業水利施設は耐用年数を超過しており、用水の安定供給や維持管理の軽減を図るため、計画的な長寿命化が必要である。

更に、激甚化・頻発化する自然災害に対し、千曲川沿いに整備されている排水機場の更新、防災重点農業用ため池の耐震化など、農地や住宅等を守る防災・減災対策の必要性が高まっている。

管内の農業基盤整備率

(単位：ha、%)

区 分 市町村	田			畑				
	耕地 面積	区画整理 (20a 以上)		耕地 面積	区画整理		かんがい施設	
		整備済 面積	整備率		整備済 面 積	整備率	整備済 面 積	整備率
長 野 市	2,130	244	11.5	5,700	603	10.6	713	12.5
須 坂 市	215	0	0.0	1,520	184	12.1	806	54.5
千 曲 市	791	413	52.2	747	127	17.0	206	28.4
坂 城 町	173	173	100.0	323	12	3.7	135	41.3
小布施町	154	154	100.0	638	17	2.7	189	30.5
高 山 村	128	26	20.3	512	47	9.2	110	22.0
信 濃 町	910	477	52.4	530	226	42.6	0	0.0
飯 綱 町	683	374	54.8	976	213	21.8	22	2.2
小 川 村	65	0	0.0	182	18	9.9	0	0.0
長野管内	5,249	1,860	35.4	11,128	1,447	13.0	2,181	19.6
長 野 県	50,400	28,751	57.0	52,900	18,794	35.5	14,927	28.2

注1) 耕地面積は、農林水産省「耕地及び作付面積統計」(R7.10.28公表)

注2) 整備済面積は、令和6年度末集計(農地整備課調べ)、県全体の整備率は市町村ごとの耕地面積の計(田:50,400ha、畑52,900ha)に対する値。

3 事業実施状況

(1) 次代を担う産地を支える基盤整備の推進

高収益作物の栽培や担い手への農地集積・集約化を可能にするため、区画拡大や水田の汎用化、樹園地の整備を進めるとともに、農業用水の安定供給を確保するため、農業水利施設の適切な保全管理と長寿命化を進める。

また、施設の維持管理費低減や脱炭素地域づくりに向けた小水力発電施設の整備を進める。

(単位：千円、%)

事業名		令和7年度実績		令和8年度計画		対前年 度 比
		地区数	事業費	地区数	事業費	
県 営	県営かんがい排水事業	5	412,515	3	581,345	140.9
	県営畑地帯総合土地改良事業	2	221,966	1	150,624	67.9
	経営体育成基盤整備事業	1	121,693	1	163,960	134.7
	小 計	8	756,174	5	895,929	118.5
団 体 営	水利施設等保全高度化事業	2	44,418	2	12,182	27.4
	農業水路等長寿命化・ 防災減災事業(水利施設整備)	5	144,040	17	521,500	362.1
	農地耕作条件改善事業	1	2,510	1	68,420	2725.9
	農地中間管理機構関連農地整 備事業(実施計画等策定)	2	18,000	1	2,000	11.1
	農業経営高度化支援事業(促進費)	1	38,665	1	330	0.8
	小 計	11	247,633	22	604,432	244.1
計		19	1,003,807	27	1,500,361	149.5

※事業費には、前年度からの繰越しを含み、翌年度への繰越しは含まない。

(2) 安全安心で持続可能な農村の基盤づくり

激甚化・頻発化する自然災害から農村の暮らしと命を守るため、排水機場の更新、防災重点農業用ため池の地震・豪雨対策、地すべり防止施設の長寿命化などの県土強靱化を重点的に進めるとともに、大雨時の水路の溢水防止と作業時の安全を確保するため、農業水利施設における水門の自動化・遠隔化を進める。また、中山間地域の特色を活かし地域の活性化を図るため、農業生産基盤と農村交流施設等総合的な整備を進める。

(単位：千円、%)

事業名		令和7年度実績		令和8年度計画		対前年度比
		地区数	事業費	地区数	事業費	
県営	県営中山間総合整備事業	1	10,780	1	137,220	1272.9
	地すべり対策事業	3	33,711	3	52,311	155.2
	県営農村地域防災減災事業	9	1,010,206	8	1,928,757	190.9
	小計	13	1,054,697	12	2,118,288	200.8
団体営	団体営農村地域防災減災事業	7	74,500	2	39,000	52.3
	農業水路等長寿命化・防災減災事業（防災減災対策）	7	55,150	11	164,120	297.6
	農業集落排水事業	4	93,200	6	157,046	168.5
	地籍調査事業	7	105,104	7	84,054	80.0
	小計	25	327,954	26	444,220	135.5
計		38	1,382,651	38	2,562,508	185.3

※事業費には、前年度からの繰越しを含み、翌年度への繰越しは含まない。

(3) 農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり

農村地域の資源や環境を次代に引き継ぐため、地域ぐるみで行う保全活動を支援するとともに、信州の魅力あふれる棚田の保全に向け、都市住民や企業など多様な主体との連携・協力を進める。

(単位：千円、%)

事業名		令和7年度実績		令和8年度計画		対前年度比
		地区数	事業費	地区数	事業費	
団体営	ふるさと信州棚田支援事業	6	800	6	800	100.0
	多面的機能支払交付金		204,626		207,829	101.6
計			205,426		208,629	101.6